

【エイワのブログ】印刷のプロ、永和印刷がサービス・技術の紹介や業界事情など最新の情報を発信していきます。印刷(Printing)のログ(Log)だからプログ(Prog)。PとRにはProfessionalとかProductといった意味も(単にPR誌だからという声も?)。創立60周年の今年からはじめた信頼プロジェクトの第2弾として、検版ソフトをご紹介します。「変わってはいけないところ」が変わってないことを確認するのは、お客様には伝わりづらい地味な部分ですが、欠かすことのできない大事な作業です。

TOPICS 創立60周年信頼プロジェクト **第2弾**

デジタルとアナログのダブル検版で事故を徹底防止!!

もっとご信頼いただくために、創立60周年信頼プロジェクトの第2弾としてご紹介するのは、デジタルとアナログのダブル検版です。「増刷時に修正の指示をしていなかったところが変わっていた」、「ゲラ段階では直っていたのに印刷したら直ってなかった」、そんな経験をされたことはありませんか? 永和印刷では専用ソフトと熟練者の目の両面からチェックすることで、そういったトラブルを未然に防いでいきます。

専用ソフト(デジタル)と熟練者の目(アナログ)ということダブル検版としていますが、実際にはDTPオペレーター、校正専任者、営業担当者らにより四重・五重にもチェックを繰り返して、品質管理をしていますのでご安心しておまかせください!!

デジタル検版のしくみ

A
修正したデータを面付する。

あいう えお	かきく けこ	さしす せそ	たちつ てと
	永	和	なにぬ ねの

B
比較の元になるデータを準備する。
(前回の校了PDFデータか、DDCP出校したPDFデータ。)

あいう えを	かきく けこ	さしす せそ	たちつ てと
	永	和	なにぬ ねの

**検版ソフト
実行!!**

AとBを比較
異なる箇所が赤く表示されます。修正がなかった箇所が赤く表示されていない事を確認します。

あいう えお	かきく けこ	さしす せそ	たちつ てと
	永	和	なにぬ ねの

デジタル検版のQ&A

- Q 見た目ではわからない写真の色調の変更も確認できるの?**
A 濃度の差分もとってくれますので、写真が修正されているかどうかを確認できます。
- Q 大幅な修正で面付頁のほとんどを差替える場合も、この作業は可能なの?**
A 新規のものと同様で面付からの作業になる場合にはできません。(すべてが赤く指摘されるので検版する意味がなくなります。)
- Q 全く修正がなかった場合はどうするの?**
A 前回の校了データ(1ビット)を使用してCTPを出力するので、デジタル検版の必要はありません。1ビットデータはすでに網点の状態になっているため変化することなく、必ず前回通りに印刷されます。

無料お試しキャンペーン申込書

TEL 03-3813-5001
FAX 03-3813-5005
mail@eiwa-p.com

時間がない方、コストが心配な方、ゲラの精度を上げたい方は
今すぐお申し込みください!!

※キャンペーンにご使用いただく原稿枚数は10枚程度、図表2~3点でお願いいたします。
下記の中から希望する編集サービスに○をご記入いただき弊社宛にFAXを送信してください。
お電話・E-mailからお申し込み可能です。

- 素読み
- 赤字付き合わせ
- 原稿整理
- 文献チェック

貴社名

担当者氏名

ご連絡先

なお、永和印刷では印刷工場見学会、お見積り、営業員訪問についても随時受け付けておりますので、お気軽にご連絡ください。



印刷業界の

いろは

第11回は 色校正

Q 印刷物の色校正について知りたいのですが、種類がいろいろあって違いがよくわかりません。

A 色校正といっても、レーザープリンターの出力から実際の用紙・印刷機を用いた本紙校正まで幅広くあります。大まかに分けるとDDCP（ダイレクトデジタルカラープルーフ）と呼ばれるデジタル出力機で出力したものと、平台校正機やオフセット印刷機で刷る本紙校正があります。

Q DDCP ってどのようなものがありますか？

A 現在、安価で一般的なものは、インクジェットベースのプルーフですが、高度な再現性を求めるのであれば、やや高価ですが印刷の網点を再現するハイエンドプルーフ（例：デジコン）をお勧めします。ただし、デジコンは特色の対応が困難です。特色を使用するものや、用紙が特殊な場合には本紙校正が最適ですが、コストがかかります。＊デジコンは正式にはコニカミノルタの装置名です。

DDCPや色校正の種類と特徴

プリンター出力：レーザープリンターなどでの簡易出力

メリット 低コスト&スピーディーなので、主に校正ゲラに使用。

デメリット 色の再現にバラつきがある。特色が擬似色である。

インクジェットプルーフ：インクジェット方式の大判出力

メリット 大判面付も可能なので、幅広く使用されている。

デメリット 忠実な色の再現をするにはカラーマネジメント（キャリブレーション等の調整）が必要。特色は擬似色である。

デジコン（デジタルコンセンサス）：簡易色校出力

メリット 実際の印刷物のような網点を再現。DDCPのなかでは最も色調の再現性が高い。

デメリット 紙の選択肢が少ない。特色は擬似色である。

本紙校正：校正専用の平台校正機やオフセット印刷機を使った色校出力

メリット 本番と同じ用紙を用いて印刷するので、イメージ通りの仕上がりを確認することができる。特色も再現可能。

デメリット DDCPと比較してコストがかかる。



担当者はこんな人



久永 康彦

最近つくづく、「基礎工事」の重要性を感じます。この基礎工事には、時間（関係者がシェアした）・人選・コストなどがありますが、これにかければかけるほど、できあがったものの品質が担保される確率が上がります（あくまで上がるだけで、100%担保されないところが難しいのですが）。もっとも、「即」が前提的に価値を持つ現在では、個々の案件別に「どの程度、基礎工事に費やすか」その見極めこそが重要だと言えるかもしれません。国家の施策たる某ミクスが、充分な基礎工事によることを祈るばかりです。



小材 健

誤読防止、読みやすさが追求される際、永和印刷ではモリサワのユニバーサルデザインフォントを推奨しています。Prog 10で紹介しましたが、特に数字・欧文などが区別しやすいのが特徴です。ただ、そんなUDフォントでもどうにもできないのが、脳内のイメージ。初めて「小材」の字をみた人の、80%は「小林」と認識します。もう慣れているので全く気にしていませんし、その場限りのときは否定すらしませんが、たまに先回りしすぎて失敗することもあります。「コバヤシタケシ様〜」と呼ばれ、「フルネームで間違えてるよ(´Д`;)」と思いつつ出ていくと、そこには本物の「小林武」が……。私はせつかちオヤジめと冷たい視線にさらされます。その点、長女は「小ざい」と書いているので誤読されることはないです。いっそのままの方が今後楽かもね？

Dr. Hagi

デジタルクリニック

DIGITAL CLINIC

calite.016

印刷のお悩み
ご相談下さい

InDesignでPDFを書き出そうとするとエラーが...

Dr.Hagi: 一昔前よりはそのようなエラーも見かけなくなりましたが、まだ事例も出てきております。ここでは、そのときの対処法を基本的なことから示します。

- ①別名保存・ファイル名変更・アプリケーションとPCの再起動
- ②PCを変えてみる
- ③一旦、PSファイルに書き出してからPDFに変換する
 - ①②は特に基本的なことですが、これで書き出せることも多々ありますので、まずは必ず試してみましょう。

弊社でのエラーのほとんどが、上記の方法で対処されております。

それでも書き出せない時は？

- ①数頁に分けてPDFを書き出す
これでPDFに書き出せる場合もあります。頁数が少なければ単頁書き出しがよいでしょう。
- ②①でPDFにできなかった頁の画像を外してPDFを書き出す
①で書き出せない原因となっている頁が判明しますから、その頁の画像を外してみましょう。それでPDFが書き出せれば画像が画像ボックスがエラーの原因なので、画像を保存し直して配置してみてください。

画像を外してもエラーになります(涙.....)

ここからは地獄の始まりです(笑)。どこが悪いのか少しずつ探っていくしかなく、文字を流し直してみたり、テキストボックスを作り変えてみたり。たった一文字のエラーの元となる字があるだけでアウトなので、それを探すのは一苦勞。マスターを当て直してみたり、頁を作り直してみたり……、ここまできたら作り直しと一緒です。

先輩：再起動したか!? 別名保存したか!? 名前変えたか!?

萩：はい!!

そんな、号令のような指示(?)を思い出しつつ、今日も青ざめながらエラーと格闘し続けるDr.Hagiでした。。。

MAP

永和印刷株式会社

●JR線「飯田橋」駅東口・東京メトロ有楽町線 B1出口より徒歩15分

●東京メトロ有楽町線「江戸川橋」駅 4番出口より徒歩8分

●バス停「東五軒町」より徒歩2分

編集後記

今回の検版ソフトの特徴は前回との差分を調べることで、第1弾の校正ソフトに比べるとその効果は伝わりにくいかも。しかし確実な仕事をするためには、デジタルとアナログの両立はとても重要な要素ということでご紹介させていただきました。「よく気が付いてくれた」「あとは永和さんにおまかせします」小さな積み重ねこそ信頼につながる信じ、社員一同取り組んでいきます。(KK)

Prog [エイワのブログ]

Printing Professional Log by EIWA

2013年4月1日発行 vol.16 2013 April

永和印刷株式会社

〒112-0005 東京都文京区水道2-4-23

TEL. 03-3813-5001 FAX. 03-3813-5005

E-mail (営業部) mail@eiwa-p.com

(DTP事業部) dtp@eiwa-p.com

<http://www.eiwa-p.com>

次号は2013年7月1日発行予定です。